



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成27年11月27日発表
担当課:市長公室 政策調査課

事業の名称等

政策提言の取組状況について

1. 日時

平成27年12月 1日 (火)

2. 場所

市報及び市ホームページに掲載

3. 事業概要

【事業内容】

5つの政策分野と55の施策からなる市長の政策提言の2年目の取組状況を公表します。

【目的】

政策提言に掲げた各施策の取組状況を1年ごとに評価をすることで現状を把握し、3年目以降の施策の取組に効果的かつ効率的に反映させていくことを目的としています。

【経緯・経過】

新熊谷市となった平成17年の市長就任以来、政策提言の1年ごとの取組状況を、11月の定例記者会見や市報12月号、市ホームページで毎年公表しています。

【効果】

市民に情報を公開し、市政に対する関心をより高めていただく効果があります。

4. 特徴やPRポイント

施策ごとの達成度を★の数で表すとともに、進捗率と自己評価を発表することで、政策提言全体としての取組状況を詳しくお伝えしています。

5. その他

※ 資料の有無(有 ・ 無)

担当者 関口

連絡先 048-524-1111 (内線369)

政策提言の取組状況について

～進捗率 72%、自己評価は 68 点～

新たなまちづくりに向けた 5 つの政策分野における市長の政策提言について、任期 2 年目の取組状況をお知らせします。

【概要】

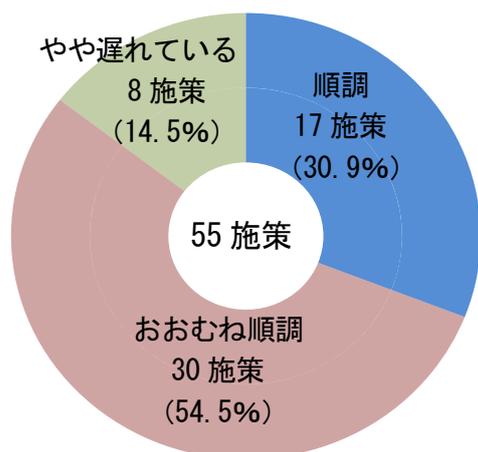
55 施策にわたる政策提言の達成度を、取組状況に基づき次の 4 段階で評価しました。

順 調 (★★★)	3 ポイント
おおむね順調 (★★)	2 ポイント
やや遅れている (★)	1 ポイント
遅れている (－)	0 ポイント

55 施策の評価の内訳は、17 施策が「順調」で 51 ポイント、30 施策が「おおむね順調」で 60 ポイント、8 施策が「やや遅れている」で 8 ポイント、「遅れている」はありませんでした。

これにより、2 年目の合計ポイントは 119 ポイント（全施策が「順調」の評価で 165 ポイントとなります。）であり、進捗率は 72% となりました。この結果を踏まえた市長の自己評価は 68 点です。

政策提言の達成度



達成度	施策数	ポイント	
		割合	ポイント
順調 (★★★) 3 ポイント	17 (5)	30.9% (9%)	51 (15)
おおむね順調 (★★) 2 ポイント	30 (37)	54.5% (67%)	60 (74)
やや遅れている (★) 1 ポイント	8 (13)	14.5% (24%)	8 (13)
遅れている 0 ポイント	0 (0)	0% (0%)	0 (0)
合 計	55	100%	119 (102)

※()内は、1 年目の数字

※進捗率 72% = 119 ポイント ÷ 165 ポイント

(全 55 施策が「順調」3 ポイントを達成すると合計 165 ポイント)

【2年目の主な成果】

1 創る

- ラグビーワールドカップ2019の試合会場について、10万人を超える署名を始め、関係者の皆様と一丸となって進めてきた招致活動が結実し、平成27年3月2日に全国12会場の一つとして、晴れて熊谷ラグビー場での大会開催が決定しました。
- 企業誘致と市内企業の育成や雇用機会の拡大を図ることを目的とした「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」に基づき、新たに10社（1年目と合わせて23社）を指定事業者として指定しました。
- 幹線第3号線が平成27年9月に開通し、中心市街地と籠原地区との交通アクセスが向上するとともに、国道17号の渋滞緩和が図られました。

2 育てる

- 全ての小中学校に配置している学力向上補助員の増員や市で独自に作成している「学力向上テキスト」の活用に加え、新たに「映像版学力向上テキスト」の活用や中学生の学力の底上げを図る「くまなびスクール」の実施、体育指導専門員による巡回指導等により、「知・徳・体」のバランスのとれた力を高め、学力の底上げを図っています。
- 子・孫世帯の転入・定住による人口増を図り、家族の中で三世代が安心して暮らせるまちを目指し、平成27年7月から親世帯と子世帯が市内で同居または近居し、住宅を新築・購入や増改築した場合に、その費用の一部を補助しています。

3 守る

- 休日・夜間の救命率の向上を図るため、市内のコンビニエンスストア5社とAED設置に係る協定を締結し、平成27年10月から合計62店舗にAEDを設置しました。
- スポーツにおける歯や口腔内の外傷を予防するマウスガードの作製に要する費用の一部を助成するため、「熊谷市口腔外傷防止用具補助事業実施要綱」を制定し、平成27年4月1日に施行しました。

4 備える

- 自治会が管理する防犯灯のLED化のため、設置や灯具を交換する場合に補助金を加算するとともに、灯具交換に対する無利子融資制度を実施しています。このことにより、平成27年9月時点で59.6%がLED防犯灯になりました。
- 災害発生時に迅速な避難支援を行えるよう、災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者などを避難行動要支援者として登録し、避難場所や避難支援をしてくれる方等を記載した個別計画を作成しています。

5 進める

- 住民異動に伴う複数の手続きの一部を一括して受け付けるワンストップサービス窓口の開設に向けて、窓口改善検討委員会を開催し、レイアウトや取扱事務について引続き検討を行いました。
- 事務事業の見直しや組織の見直し等により、職員の定員適正化を進めるとともに、地方債の新たな借入を元金償還額以下に抑制し、平成26年度末の市債残高を25年度末と比べて約20億円削減しました。

政策提言の取組状況

1 創る

(★★★★「順調」 ★★★「おおむね順調」 ★「やや遅れている」 -「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
1	ラグビーワールドカップ2019の試合会場を熊谷ラグビー場に招致します。	★★★★	平成23年にラグビーワールドカップ招致室を設置し、招致委員会を設立して以来、10万人を超える署名を始め、関係者の皆様と一丸となって進めてきた招致活動が結実し、平成27年3月2日に全国12会場の一つとして、晴れて熊谷ラグビー場での大会開催が決定しました。
2	全国規模のスポーツ大会を誘致し、その運営を支援します。	★★★★	さくらマラソン大会や選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップin熊谷」、全国高校選抜ラグビーフットボール大会を継続して実施しました。また、日本プロゴルフ選手権や東日本実業団陸上、国体関東ブロック大会(新体操・体操・サッカー・ラグビー・ハンドボール)が開催されました。
3	人口増のため、新たに市内に居住する若い世代の住宅新築や購入を税制面から支援します。	★★★★	定住人口増加を図るための支援策として、「熊谷市定住人口増加のための固定資産税等の課税免除に関する条例」を施行し、平成27年度分から免除を行っています。
4	北部地域振興交流拠点施設(仮称)の整備を進め、中心市街地のにぎわいをつくります。	★	建設予定の用地の分筆測量や、施設に導入を予定している「民間にぎわい施設(テナント)」の導入調査を実施するなど整備に向けた準備を進めています。また、中心市街地活性化の牽引役となる株式会社まちづくり熊谷は、まちなかモール委員会や中心市街地活性化協議会の事務局を担い、活動団体ネットワーク化を図っています。
5	秩父鉄道熊谷駅と持田駅との間に新駅を開設し、新たな都市拠点を整備します。	★★★	平成27年3月24日に新駅設置に関する事業内容や負担割合を明確にした協定書を秩父鉄道株式会社及び行田市と3者で締結しました。また、昨年度行った駅周辺のアクセス道路などの設計に基づき、用地買収を実施するとともに、佐谷田新駅周辺地区の開発構想を推進するため、既成市街地の市街化区域編入に必要な都市計画変更手続き資料の作成及び新市街地の開発整備構想の事業化に向けた検証を行いました。
6	籠原駅前北口広場を始発駅にふさわしい籠原地区の玄関口として整備します。	★	籠原中央第一土地地区面整理事業として、籠原駅前北口広場を整備するため、建物移転補償契約の締結、移転交渉を継続しています。また、駅前広場整備計画について交通管理者(警察)との協議も整い、駅前広場整備実施計画策定に向け地区内住民を中心にワークショップを開催しました。
7	新たな立地場所を創出し、さらに企業誘致を進めるとともに、市内企業の事業拡大を支援します。	★★★★	「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」に基づき、新たに10社(1年目と合わせて23社)を指定事業者として指定しました。また、企業立地支援ガイドを事業所の新設や増設を検討している企業に配布し、奨励金制度を周知したほか、意向調査や企業訪問を行うことで、企業立地に係るニーズの把握を行っています。
8	うちわ祭を始め各種伝統行事や国宝「妻沼聖天山歎喜院聖天堂」に代表される文化財などの地域資源を生かし、観光客を誘致します。	★★★	「あついぞ！熊谷お祭り条例」を周知するポスター・チラシを作製し、お祭りに対する意識の高揚、参加意欲の醸成に努めました。また、観光情報誌として人気の高い「るるぶ」に、BOOK IN BOOK形式で特別付録を綴り込み、本市の魅力を全国に向けて紹介したほか、「まっふるKUMAGAYA」を新たに発行しました。

番号	政策提言	達成度	取組状況
9	地産地消推進のための農産物直売所設置への支援や本市に移転する県立農業大学校との連携により、農業経営を応援します。	★	「熊谷市地産地消促進計画」を策定し、本市における地産地消推進の指針を定めました。また、シンポジウムの開催や地産市場かまくらに「農業大学校コーナー」を設置するなど、農業大学校との連携を進めました。
10	トップセールスにより熊谷産農産物の販売促進を図ります。	★	市場や消費者から高い評価を得ている熊谷産農産物のトップセールスを実施するため、関係団体と調整をしています。
11	池上地区と上之東部地区のほ場整備事業を推進します。	★	池上地区では、土地改良区設立申請人会を随時開催し、土地改良区設立のための準備をし、上之東部地区では、地元説明会を開催しました。また、事業採択に向け、地区内農地等状況調査を実施し、換地設計基準を作成しました。
12	良好な農業基盤や豊かな農村環境をつくる地域ぐるみの活動を支援します。	★★★	農業が有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に取り組む組織への支援が多面的機能支払交付金制度として法制化されたことに伴い、国の基本方針に即した促進計画、事業計画等を作成し、法制化後の体制を固めました。
13	幹線第3号線及び第2北大通線を開通させるとともに、主要幹線道路の整備を推進します。	★★★	幹線第3号線は平成27年9月に全線開通し、中心市街地と籠原地区との交通アクセスが向上するとともに、国道17号の渋滞緩和が図られました。また、第2北大通線及び主要幹線道路については、用地買収を進めています。
14	上石第一地区の国道17号を拡幅し、整備を推進します。	★★★	国道17号の拡幅に向け、拡幅用地の移転交渉を重点的に実施しています。2年目は2件の移転補償を行いました。
15	北大通線の自転車道等の整備を推進します。	★★★	熊谷駅を中心とする中心市街地地区を、より便利で快適なまちにするため、熊谷女子高校から市役所前までの間の自転車通行帯の整備工事及び中央交番から熊谷保健センターまでの水路暗渠化及び歩道設置に向けた測量・設計に着手しました。また、市役所通線から熊谷地方裁判所までの区間の整備に向け、幅員構成等についての検討を行いました。
16	スポーツ・文化村「くまびあ」の本格稼働のため、2期及び3期工事を進めます。	★★★	第2期工事である創作展示棟、人工芝グラウンド、テニスコート、多目的グラウンド等の整備が完了し、第3期工事として、宿泊研修棟、クラブハウス等に係る設計を進めています。

2 育てる

(★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
17	学力向上対策を推進し、学力日本一を目指します。	★★	全ての小中学校に配置している学力向上補助員の増員や市で独自に作成している「学力向上テキスト」の活用に加え、新たに「映像版学力向上テキスト」の活用や中学生の学力の底上げを図る「くまなびスクール」の実施、体育指導専門員による巡回指導等により、「知・徳・体」のバランスのとれた力を高め、学力の底上げを図っています。
18	こども医療費無料化の対象を高等学校卒業までに拡大するとともに、受益と負担の公平を図ります。	★★	先進事例となる他市の状況を把握するとともに、平成29年1月の制度改正に向けて、給付対象者の範囲の検討等、庁内関係課との調整を進めています。
19	学校給食について、全校自校式を計画的に進めます。	★	新たに検討委員会を組織し、公共施設アセットマネジメント基本方針などを踏まえながら、調理施設のあるべき方向性を検討しています。職員による先進地視察や全校敷地調査も実施しました。
20	小中学校の屋内運動場を順次改築します。	★★★★	子供たちの安全と地域住民の災害時の避難場所の確保のため、耐震診断の結果に基づき、吉岡小学校、妻沼小学校、大里中学校の改築を進めるなど、屋内運動場の耐震化に計画的に取り組んでいます。
21	小中学校の特別教室にエアコンを整備します。	★★★★	子供たちが快適な環境の中で学習に取り組むことができるよう、普通教室に引き続き、理科室や音楽室などの特別教室や少人数教室へのエアコン整備について順次設置工事を進め、対象の教室へのエアコン設置は完了しました。
22	幼保連携認定こども園の設置を促進します。	★★	現在、三尻認定こども園が幼保連携型認定こども園として設置されています。また、荒川幼稚園に対し施設整備の支援を行い、平成28年4月開設に向けた移行準備を進めています。
23	保育料の減免制度を拡大します。	★★★★	同一世帯から2人以上同時に保育所、幼稚園や認定こども園を利用している場合には減免を行っています。今後、県の多子世帯保育料軽減事業を活用し、減免制度の拡大をします。
24	保育所待機児童「ゼロ」を継続します。	★★	平成27年4月1日現在の待機児童数は4人となりましたが、主に、0～2歳児の受入施設が不足しているため、引き続き幼稚園から認定こども園への移行、保育所改修等による定員増や小規模保育事業等の新たな認可を進め、待機児童「ゼロ」に戻せるよう取り組んでいます。
25	地域子育て支援拠点の機能を強化します。	★★	平成27年8月から吉見保育所内の子育て支援広場「にこにこ」の開所日数を週3日から週5日、開所時間を3時間から5時間30分に拡大し、一般型への移行を行いました。
26	児童クラブを整備し、その充実を図ります。	★★	熊谷東、石原及び別府の各小学校内に各々第3東、第4石原、第2別府児童クラブの3施設を開設し、公立施設は40か所、定員は110人増の1,645人になりました。
27	不妊治療費の助成を継続します。	★★★★	特定不妊治療に対して助成する制度を継続して実施しています。さらに、平成27年10月から男性不妊治療に対する助成を開始しました。
28	三世帯同居のための新築・増改築を支援します。	★★★★	子・孫世代の転入・定住による人口増を図り、家族の中で三世帯が安心して暮らせるまちを目指し、平成27年7月から親世帯と子世帯が市内で同居又は近居し、住宅を新築・購入や増改築した場合に、その費用の一部を補助しています。

3 守る

(★★★★「順調」★★「おおむね順調」★「やや遅れている」―「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
29	様々な熱中症対策を実施し、暑さ対策日本一を目指します。	★★★★	暑さから市民の皆様の健康を守るため、市独自の暑さ対策や熱中症対策に積極的に取り組んでいます。今年も「暑さにまけるな中学生事業」や「まちなかオアシス事業」などを継続して実施したほか、「ちびっ子元気事業」や「えんむすび日傘事業」にも新たに着手しました。
30	第2次救急病院の運営を支援します。	★★	第2次救急病院の運営を支援する制度を継続して実施するとともに、第2次救急病院の新たな取組等に対する支援制度について検討しています。また、平成27年度から、第3次救急医療支援事業を開始し、市内第2次救急病院の負担軽減を図りました。
31	AEDをコンビニに設置します。	★★★★	休日・夜間の救命率の向上を図るため、市内のコンビニエンスストア5社とAED設置に係る協定を締結し、平成27年10月から合計62店舗にAEDを設置しました。
32	DVの相談支援センターを設置します。	★★★★	平成27年10月1日に熊谷市配偶者暴力相談支援センターを設置し、DV被害者に対する相談業務に加えて、「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」や「裁判所提出用書面」などの証明等を発行できるようになりました。
33	スポーツにおけるマウスガード着用を支援します。	★★★★	スポーツにおける歯や口腔内の外傷を予防するマウスガードの作製に要する費用の一部を助成するため、「熊谷市口腔外傷防止用具補助事業実施要綱」を制定し、平成27年4月1日に施行しました。
34	市民の「心」の健康づくりを推進します。	★★	自殺予防ゲートキーパー養成講座に36人、心の健康づくりについての健康教育に613人が参加しました。また、自殺の原因は、健康上の理由や失業、多重債務等の問題が重なっていることが多いため、平成27年1月に関係部署との連携強化を図るために自殺予防対策庁内連絡会議を設置しました。
35	次世代自動車のための急速充電設備を公共施設に設置するとともに、一般家庭や事業者の充電設備の設置費用を助成します。	★★	平成26年度の「道の駅めぬま」への急速充電設備の整備に続いて、平成27年4月から江南行政センターに整備した設備の運用を開始し、公共施設への設置が2ヶ所となりました。
36	低公害軽自動車の軽自動車税に対して助成します。	★★★★	省エネルギー化を推進するため、低公害軽自動車を取得した方に奨励金(軽自動車税相当額)を交付し、低公害・低燃費軽自動車への乗り換えを促進しています。
37	3R(リデュース、リユース、リサイクル)運動を推進し、ごみの減量化を図ります。	★	資源循環型社会を形成するため、引き続き生ごみ処理容器等購入費補助金やリサイクル活動奨励金などの制度を実施したほか、新たに剪定枝破砕機の貸出や、ミックスペーパーの再資源化、使用済みインクカートリッジの回収により、ごみの減量・リサイクル化を図りました。
38	家庭用太陽光発電設備の設置費用の助成を充実します。	★★★★	地球温暖化対策の一環として自然エネルギーの利用推進を図るため、住宅用太陽光発電設備の設置者に対し、1kw当たり2万円として10万円を上限に補助金を交付しています。また、スマートハウスの設置者に対し、50万円の補助金を交付しています。
39	合併処理浄化槽の維持管理への助成を継続します。	★★★★	生活排水による河川等の水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、家庭用合併処理浄化槽の法定検査等を行っている方へ10年間で最大10回の補助を継続して実施しています。また、埼玉県浄化槽協会及び清掃許可業者と協力して補助制度の啓発に努めています。

4 備える

(★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
40	全ての小学校の通学路の交通安全対策を推進します。	★★★	小学校を中心に半径約500メートルの範囲の通学路にグリーンベルトや転落防止柵を設置する交通安全対策事業を継続して実施しており、これまでに18の小学校を重点的に整備しています。
41	生活道路及び排水路の整備と安全対策を推進します。	★★★	自治会等からの要望等により、緊急性や必要性を勘案し、生活道路については26か所(整備延長4,104m)、排水路については7か所(同722メートル)を整備したほか、反射鏡、防護柵や道路照明灯などを設置しています。
42	防犯灯のLED化を促進します。	★★★	自治会が管理する防犯灯のLED化のため、設置や灯具を交換する場合に補助金を加算するとともに、灯具交換に対する無利子融資制度を実施しています。このことにより、平成27年9月時点で59.6%がLED防犯灯になりました。
43	防災行政無線をデジタル化し、安心安全に関わる大切な情報の伝達の強化を図ります。	★★★	防災行政無線のデジタル化整備実施設計業務委託を実施した後に、デジタル化整備工事業務及び同工事監理監督業務を委託しました。
44	防災士資格の取得費用を助成し防災リーダーを育成するとともに、自主防災組織の結成と活動を支援します。	★★★	地域の防災力を高めるため、自主防災組織の結成や活動を支援するための補助金の交付制度を継続するとともに、自主防災会長及び自治会長を通して防災士の資格取得費用を補助する制度の周知を図り、防災リーダーの育成を促進しています。
45	災害弱者の支援体制の構築に取り組みます。	★★★	災害発生時に迅速な避難支援を行えるよう、災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者などを避難行動要支援者として登録し、避難場所や避難支援をしてくれる方等を記載した個別計画を作成しています。9月末現在で3,328名の方を登録しています。
46	地域防災に大きな役割を担う消防団の機能を充実します。	★★★	防火衣16着を更新配備し、全ての消防団に配備が終了しました。また、背負式消火水のうを消防水利の少ない河川敷沿いの分団を対象に15個配備しました。さらに消防救急デジタル無線対応機器(受令機)を平成27年12月からの運用開始に向け、準備を進めています。
47	災害時の中心的役割を果たす市役所本庁舎の耐震化を実施します。	★★★	平成26年11月に準備工事、12月に本体工事に着手し、平成27年度内の完了を目指しています。
48	耐震性防火水槽を設置し、防災対策を強化します。	★★★	平成27年10月時点での防火水槽の設置数527基のうち、耐震性防火水槽は123基となっています。開発による帰属等により耐震性防火水槽は昨年同時期から2基増加しています。

5 進める

(★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
49	シティセールスを進め、様々な熊谷の魅力をアピールします。	★	転入促進パンフレット「熊谷で暮らす」、無料観光情報誌「まっふるKUMAGAYA」をそれぞれ作成し、熊谷の魅力アピールに努めています。
50	将来を見据えて、公共施設のアセットマネジメントを進めます。	★★	市民アンケートの結果や、施設の状況、人口・財政推計等に関し収集・整理したデータを基に、策定委員会・推進会議において検討を重ね、平成27年3月に「熊谷市アセットマネジメント基本方針」を策定しました。学校、公民館等の具体的な施設の統廃合、廃止等の基準等を定める「熊谷市アセットマネジメント基本計画」の策定に向け、引き続き検討しています。
51	住民票等のコンビニ交付を実施します。	★★	システム事業者から情報を収集するとともに、地方公共団体情報システム機構から個人番号カードを利用したコンビニ交付の各種資料の更新版を入手するなど調査研究を進めています。また、コンビニで交付する各種証明書等について検討しました。
52	ワンストップサービス窓口を開設します。	★★	住民異動に伴う複数の手続きの一部を一括して受け付けるワンストップサービス窓口の開設に向けて、窓口改善検討委員会を開催し、レイアウトや取扱事務について引続き検討を行いました。また、より質の高いサービスを提供するよう総合窓口案内業務委託を実施するため民間事業者の選定を行いました。
53	「はじめの一步」助成金や「熊谷の力」協働事業提案制度を継続し、市民活動を支援します。	★★	市民活動の立ち上げや事業の拡大を支援する「はじめの一步」助成金の5事業と、市民活動団体と市の協働により地域の課題を解決する市民協働「熊谷の力」事業の5事業を採択し、支援を行うとともに、平成26年8月から実施している共助の取組マッチング事業を通して、市民活動を支援しました。
54	職員の定員適正化を推進し、人件費を削減します。	★★	事務事業や組織の見直し等により、平成27年4月1日現在の職員数(消防職員を除く。)は1,128人で、前年度と比較して18人減員しています。
55	引き続き市債残高を削減し、健全財政を維持します。	★★★	地方債の新たな借入を元金償還額以下に抑制し、平成26年度末の市債残高を25年度末と比べて約20億円削減しました。